



国津神社拝殿―奈良市都祁白石町で



(住所) 奈良市都祁白石町580
(祭神) 主神、大国主命 末社春日
神社、天児屋根命 同厳島
神社、市杵島姫命

(交通) 名阪国道針ICから南へ約
1km
(拝観) 自由
(駐車場) あり

国津神社 (奈良市)

奈良市東部の都祁白石町にあります。創建の由来は、古代より当社地、字神子尻に大きな白い石があった。白石明神と呼ばれるようになったとも、6人の年寄りが都祁南ノ庄の国津神社から神体の白い石を持ち帰ったところこの場所で急に動かなくなったのでそれをここに



祭ったとも伝わります。当社の東700mにあり

る雄神社との間には、「やすんば」と呼ばれる木の茂みが田の中に点々と4力所あり、神様が両社の往來の途中に休まれた神聖な場所とされています。

祭礼は大祭が10月中頃の日曜日、古祭が旧暦

10月16日(現行11月3日)です。古祭では、「スコの餅」と呼ばれる御供が3基運び込まれます。藁で作った胴を菊花で飾り、輪切りの大根と丸餅を交互に刺した長い竹串を花が咲いたように上部からぐるりと垂らしま

す。胴の上部に1・5升ほどの丸く平たい餅を載

て、都祁の里に冬の訪れを告げるのです。

(奈良まほろばソムリエの会会員 小西和子)

冬を告げる「スコの餅」